

令和6年度 9月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和6年9月19日(木)
- ◎開催日時 令和6年9月25日(水) 午後1時30分～午後3時15分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、黒河内教育委員、宮坂教育委員
- ◎欠席委員 田畑教育委員
- ◎出席職員 三澤教育次長、唐澤学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・ようやくというか、秋らしいと感じる今日この頃になりました。高遠町歴史博物館で秋の企画展では、山に生まれてということで、江戸時代から今までに至る山、森について知っていただく企画展をしている。
- ・その中に芝平山絵地図があり、それぞれ本当に自分たちの山、森林を大事にしてきたもうかけがえのない場所だったことが、それを見るだけでも本当によくわかる絵地図で、毎年虫干しする時だけ封印を切って、6カ村の総代が集まり、それを見て虫干しして、また封印して保管する、江戸時代から繋がってきていることをお聞きした。
- ・また、長谷の戸台分校が昭和38年に閉校したそうですが、その37年、38年にそこへ教員として美和の分教場という形だったそうですが、そこへ着任した先生が2年間、どういう子どもたちと歩みをしたかとかまとめたものがこの「戸台分校物語」で、息子さんがお父さんのいろいろなものを整理されて、本にまとめられている。山、川、自然を学習材としながらやってきたことや、何回も川の氾濫で校舎が流され、戸台の皆さんが山を売り払って校舎を造り直した。この先生が給食を食べさせたいということで、奥さんを調理員にし、まだバスもないころなので、バイクの免許を取って買い出しをしたというようなことがここに書かれている。山に山の暮らしがあり、学びがあることを改めて感じた1冊だった。
- ・今週末は、各中学校において文化祭、そして来週末はいよいよ残っている3小学校の運動会ということで予定されており、委員の皆様には各校へ出向いていただいで参加していただくことをお願いしているが、よろしくお願ひしたい。
- ・本日は、本会終了後、総合教育会議ということで、あわせてよろしくお願ひしたい。

3 委員のひと言 宮坂委員

- ・今年度、主任児童委員を初めてやりまして、活動の様子を皆さんにも知っていただきたくて、資料を用意した。民生委員制度は100年余り、それにプラスされて児童委員制度が70年余りということで、それが今の民生委員児童委員に繋がっている。主任児童委員は遥かに遅れて今年で創立30周年になる。以前は厚労省から任命されていたが、今はこども家庭庁から任命されている。伊那市には16人、小学校区に1人、西箕輪だけ2人ですが、子育て支援課が事務局となって活動している。
- ・主任児童委員の役割は、民生委員児童委員との連携、保育園、学校、行政などとの連携、それによって、子育てに関する支援を専門に担当するというで始まっている。
- ・30年前の発足当時、子育ては家庭内暴力とか校内暴力、不登校、その他いろんな深刻な状況にあり、制度が発足した。当時は児童相談所、それから個々の家庭の相談支援をしていたが、

今は状況が変わり、そういうことはなくなってきており、その活動内容の曖昧さは全国でも課題となっている。

- ・活動は、それぞれ 16 人のそれぞれの地区、それから個人の持ち味を生かしながら活動しており、全般では定例会のほか、今年度 7 月には幼稚園やはらぺこの施設見学、8 月には議会社会委員との懇談を行っている。
- ・保育園では運営委員になっている方が多く、保育園と関係しながら子どもの支援にあたっている。小中学校ではコミュニティスクールの委員や学校評議員になっている方が多く、学校行事に出席したり、個人的に PTA 作業に協力したり、クラブ活動のお手伝いをしている方もいる。
- ・各地域との関係ですが、今度の 10 月には児童養護施設たかずやまつりに全員参加して、お祭りのお手伝いをする予定でいます。その他に登校時の見守りをしたり、赤ちゃん訪問したりして各個人で活動しているところです。課題としては一番にあります、本当にそれぞれ地域とか個々の持ち味を生かして活動を様々しているのですが、主任児童委員は何やっているのか聞かれた時に明確な説明ができない状況となっている。
- ・理由は、30 年前の発足当時と子育ての環境が異なり、個人情報の保護があり情報を共有しにくいこと、行政の細やかな対応が進み、子育ての悩み、不安を行政が丁寧に対応してくれていることがある。
- ・伊那市の主任児童委員は何をやっているか聞かれた時、明確にアピールできる内容は模索中で、例えば松本では民生委員さんと一緒に赤ちゃん訪問している、飯山ではイベントを毎月やっているが、伊那市としての明確な特色を出せないでいる。
- ・小学校区に 1 人という分担なので、自分の住んでいる地区の対応が主になってしまい、他の地区に手が回らないような状況もある。
- ・また、認知度が低く、例えば育成会からイベントの連絡がなかったりするなど、他の団体と連携を図ることが難しいと思っている。また、区長が後任探しに苦労している例があり、任期は 3 年で、伊那市では初任の割合が 70% 近く、仕事についている方も多いことにも理由があると思っている。
- ・この仕事をして、1 年半くらいになるが、自分の成果として感じていることは、主任児童委員の皆さんは、子どもたちの生活の中に入って、子どものことを大事に考えて日々活動している主任児童委員さんの出会いが、本当に貴重で自分のエネルギーにもなっている。
- ・行政の皆さんのきめ細やかな支援を知るにつけて、何か本当にあの手厚い支援をしているということを改めて感じた。私も社協で長期休みの 1 人親家庭の学習支援とか、クリスマス会のお手伝いなどに参加するようにしているが、本当に何か行政の人たち精一杯手厚くして活動しているなということを感じている。
- ・県の主任児童委員会に参加しているが、その方々との交流も楽しみの一つであり、全体として人との繋がりが本当に財産だなと思いながら活動をしている。

4 会議事項

第 1 教育長報告

- ・9 月 3 日の教育団体の教育財政懇談会には県議さん 4 名に来ていただいて、上伊那の教育課題についての要望、県教委あるいは県にしていけるに当たっての意見交換、そして情報共有していただくという機会を持つことができた。
- ・4 日は、鈴平という五平餅の会社が、15 年前から伊那市、今は上伊那全域の新入学児童に五平餅を無償提供していただいており、15 年をお祝いする会を長谷小の 1 年生を迎えて行った。
- ・7 日は絵島の第 284 回法要が行われ、また今年も三宅島から村長さん、そして議長さんをはじめ議員の皆さん、教育長さん等、大勢が来ていただいた。
- ・9 日から 11 日は議会の一般質問ということで、質問は通知表、平和教育、部活動の地域移行、

不登校等についてということで、私の方からお答えをさせていただきました。

- ・13日は、アドコマーシャルでは今年3年目になるが、地元企業の皆協賛を得て、学習ノートを小学生全員に計1万4000冊、寄贈していただくことができた。
- ・14日は、歴博企画展のオープニングセレモニーが行われた。
- ・19日は、まほらいな市民大学の25期生、そして大学院の9期生の皆さんの修了式が行われた。祝賀会では26期生の皆さんがチームにわかれているような催しを出していただいた。

第2 議案

(1) 伊那市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

(2) 伊那市教育委員会文書管理規程の一部改正について

(3) 伊那市通学路安全推進会議設置要綱の一部改正について

- ・(1)から(3)まで、学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「教育委員会はこれまでの課・室数と係数はどうか。」との質問があり、学校教育課長から「3課1室となる。係数は確認して、報告する。」旨の回答があった。
- ・その他、質問、意見はなく、(1)から(3)まで原案どおり可決された。

(4) 伊那市子ども相談室設置要綱の廃止について

(5) 伊那市教育支援委員会規則の一部を改正する規則について

- ・(4)から(5)まで、子ども相談室長から資料に基づき説明
- ・質問、意見はなく、原案どおり可決された。

(6) 伊那市立中学校部活動の地域移行協議会設置要綱の制定について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「組織40人以内について、どなたを想定しているか。」との質問があり、学校教育課長から「識見を要するものが3名、地域スポーツ団体、地域文化芸術団体等の代表者13名、中部PTA連合会の代表者3名、中学校は市内中学校の校長、その他3名ほどを予定している。」旨の回答があった。
- ・その他、質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第3 協議事項

(1) 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

- ・教育次長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「例えば『いじめ防止対策の推進』はB評価とあり、評価としては期待通りの成果が上がっているが、中身を見るとやはり不登校やいじめ等の新しい課題が出てきたり、人的な配置はもっと厚い方が良いとしたりしている。現場の人たちは頑張っており、努力はしているという思いもあると思うが、成果は客観的に見てどうかも含めて、実際には子どもの環境が良くなっているか、例えばC評価をつけても、それは現場に対して努力が足りないという意味ではなく、もっと改善する、来年重点的に力を入れる、というメッセージを伝えるポジティブな面もある。特に生涯学習課はABCD選択肢があるのに、全部B評価というのは何もしていないに等しいと思われても仕方がない。課長が良いと思えばA評価をつければいいし、来年はもっと良くしていく必要があるならC評価をつける、その覚悟が不足していると読める。課としての心算を表現する場だと思うが、それを生かしてない。」との意見があった。
- ・生涯学習課長から「各係長が評価して、私どもで再度確認をして、この評価になっている。予定していたことができたということで評価している面もある。もう少し頑張れるところもあるので考えたい。」、教育次長から「この評価をした根拠を出してもらっており、それを見る限り想定していることができたということで、この評価は全く的外れではないけれども、やろう

としていること、それに対しての評価が曖昧な部分もある。また、去年課題として挙げたことに対して、対応できずに評価を落とした事業もあるが、もう少し高い目標を目指しても良く、新たな視点で見ていく必要があると思う。」旨の回答があった。

- ・教育委員から「心の教育に対してとても予算をかけており、心のケアについて事前防止も含めて大事にしていることが伝わってくる。これがだんだん膨らんでいくとなると少し切ない気にもなるが、市としての姿勢を感じて良いと感じた。」との意見があった。
- ・教育長から「この辺、また来年設置される こども部 との連携を濃くしていく部分になると思っている。委員の意見を大事にしながら進めてまいりたい。」旨のコメントがあった。
- ・その他、質問、意見はなく、原案どおり決議された。

(2) 教育委員会推薦等による各種委員等について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「女性の参画について触れられているが、前任者を引き続きとの依頼があるので、受けさせていただく。」とのコメントがあった。
- ・その他、質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第4 報告事項

(1) 伊那市生涯学習推進委員会規程の一部改正についてについて

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(2) 「ICTサマーキャンプ」の実績報告について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(3) まほらいな市民大学の事業報告について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「市民大学には様々な講座があると思うが、満足度は調査しているか。データはあるか。」との質問があり、生涯学習課長から「担当者が声をお聞きしており、講師によってはとても良かったという感想が多いが、そうでない方もいると思う。講師の選考にあたっては、学生の声をお聞きして次年度の講座に反映させている。データは承知していない。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「声を聞く方法は様々な手段があり、アンケート用紙でもタブレットでも良いので数値化することが次への力を持つことになると思う。講師に対して点数をつけることは失礼ではなく、低い時は少し工夫したら評価が上がることもある。データがなく、声のみでは、その現場の担当者の主観が入ることもある。改善していく、入れ替える、人気のあるものばかりを揃えていくと、自然と入学希望者は増えると思う。特徴がないと変わってこないなので、ぜひやっていただきたい。」との意見があり、教育長から「担当者はどのように講座を選定しているかを確認していただいて、次年度に生かすようにデータを集積して、受講者が集まるための工夫をしていくことが大事だと思う。」旨のコメントがあった。

(4) 人権同和教育事業について

- ・社会教育指導員から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「データをきめ細やかに集めて分析しており感心した。データで令和4年度と5年度の実施校数を比べると、後援会は、幅広く、広域で、またかなり講師料も高い人もいると思われる中で、4年度、5年度で拡大されているが、担当として資料を提示した

のか、それとも各学校で発掘されたのか、どうか。」との質問があった。

- ・社会教育指導員から「問い合わせがあれば県の派遣事業を紹介しているが、ほぼ学校が探している。」旨の回答があった。

(5) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「例えば『伊那市の暮らしガイド』は説明にあるように、ホームページで閲覧できることが紹介されている。『伊那市エリアガイド』など、ホームページで見られるものについては、説明が付くということで良いか。」との質問があった。
- ・市誌編さん室長から「ホームページで見られるものについては考えたい。」旨の回答があった。
- ・教育長職務代理者から「実際にすぐ手に取るって素晴らしいことだと思う。『新しいまち作り』の下に、2004年の9月とあるが、例えば『暮らしのガイド』などは、そうした記載が入るか。」との質問があり、市誌編さん室長から「現物が見られる場合は、その現物の入口を表示、行った先で見られる場合は、紙面のスペースもあるので、工夫したい。」旨の回答があった。

(6) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(7) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 その他

(1) 今後の主な日程について

(2) 来月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明

6 閉 会